

令和4年度 上尾市立尾山台小学校学校経営方針

～「学びを革新する」Challenge learning innovation～

1 はじめに

社会の変化は加速度を増し、複雑で予測困難な時代となった。新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大は非連続と言えるほど劇的に社会の状況を変え、より現実のものとした。こうした時代の中で、子供たちが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人と協働しながら豊かな人生を切り拓き、持続可能なよりよい社会を創り出していくことができるように、その資質・能力を確実に育てていくことが重要である。小学校では、その基盤となる力を培うことが重要であり、そのためには、教職員一人一人が自ら学び知恵を出し合いながら全教職員で連携し、家庭や地域の教育力と連動しながら協働して子供たちに関わり、豊かに教育活動を推進する必要がある。

本校は今年度で開校56年目となる。これからも本校の豊かな伝統を「継承」しつつ、時代の変化に即応し、変化を前向きに受け止め、地域や子供たちの実態に応じた質の高い教育活動を推進していくとともに、学習指導要領及び埼玉県教育振興基本計画、上尾市教育振興基本計画等の教育方針に基づき、確かな学力・心豊かにたくましく生きる児童の育成を目指し教育活動を推進する。

2 学校教育目標

「確かな学力を身に付け、心豊かにたくましく生きる児童の育成」

～ 明るい子、考える子、たくましい子 ～

(1) 目指す児童像

明るい子・・・元気にあいさつする子

笑顔あふれる子

考える子・・・自分の考えを表現できる子

共に学ぶ子

たくましい子・・・進んで体を動かす子

最後までやりぬく子

(2) 目指す学校像

「児童・保護者・地域から信頼される、しなやかな活力に満ちた学校」

～伝統を生かし、これからの学びを創造する～

ア 明るくきれいに環境が整った学校

イ 自立する力の基礎を培う学校

・自立＝自己実現と捉え、自己有用感に裏付けされた自己肯定感を醸成

「自己有用感」とは、人の役に立った、人から感謝された、人から認められた等の自分と他者との関係を自他共に肯定的に受け入れることで生まれる、自己に対する肯定的な評価。

- ウ 豊かな心を育む学校
- エ 教職員が和を貴び、教育力を結集して向上する学校

(3) 目指す教師像

- ア 情熱とチャレンジスピリットに満ちた教師
- イ 専門性を探究する識見のある教師
- ウ 健康で人間性豊かな教師
- エ 厳しさと優しさと温かさで児童に寄り添う教師
- オ 児童、保護者、地域住民に誠実に対応する教師

3 学校経営の基本方針

「学校は子供たちのためにある」「学校は学ぶ喜び・絆・夢を育むところ」を経営理念に、3つの合い「学び合い、助け合い、高め合い」を大切にしながら支持的風土を重んじ、一人一人の児童が学ぶ喜びを実感し、確かな学力・豊かな心・健やかな体をバランスよく育む。すべての教職員が自ら思考し、情熱とチャレンジスピリットをもって工夫を繰り返し、しなやかに時代に対応する明るい学校づくりを目指す。

そのために「教職員、児童、保護者、地域」がチーム尾山台としての一体感を強め、誇れる学校、信頼される学校を実現する。

4 令和4年度の重点目標

『確かな学力』

(1) 学習指導要領の確実な実践（指導法と評価法の探求）

- ア 尾山台授業スタイル「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る授業の推進
- イ ゴールを明確にし、指導と評価を工夫した授業の実践
- ウ 各教科等の見方・考え方を働かせた授業の実践
- エ 一人一人の基礎的・基本的な知識・技能の習得の徹底
- オ 読書活動の推進

(2) 学びの革新の実践研究

- ア 端末1人1台を効果的に活用した、楽しくわかりやすい授業実践
- イ 災害や感染症等発生などの緊急時にも教育活動を継続するための研究
- ウ 情報セキュリティの遵守と管理、情報モラル指導の徹底
- エ 持続可能でよりよい世界を目指す国際目標「SDGs」を考える授業の推進
- オ 楽しく英語を話せる児童の育成

(3) 指導力向上の取組の推進

- ア 令和の日本型学校教育の実現に向け、大胆な授業改善を図るための研究の推進
- イ 全ての教師が特別支援教育への理解を深め、障害の特性や理解を深めるための研修の実施
- ウ 人権課題を正しく理解するための研修の実施

『豊かな心と健やかな体』

(4) 心豊かな児童の育成を目指した教育の推進

- ア 基本的な生活習慣を徹底するための粘り強い指導
- イ 道徳科を要として教育活動全体を通じた道徳教育の充実
- ウ 相手の立場や気持ちを考えて行動できる思いやりある児童の育成
- エ 自己有用感の育成と、異学年齢集団による活動の充実
- オ 特別活動を基盤とした学級経営の推進と支持的風土の醸成

(5) 体力向上の取組の充実

- ア 体育授業の充実（運動の質と運動量の確保）
- イ 業間、昼休み時間の活用の工夫（楽しく体力を向上させる仕組みの工夫）

『信頼される学校』

(6) いじめへの迅速な対応 ～いじめの見逃しゼロ～

「いじめは絶対に許されない」、「いじめは卑怯な行為である」、「いじめはどの子供にも、どの学校でも起こりうる」との意識を持ち、最優先課題として捉え、組織で迅速に対応する。 <生徒指導上の課題について、共通理解・共通行動を徹底>

(7) 特別支援教育の推進

- ア 特別支援学級の児童との交流及び共同学習の推進
- イ 通常学級における特別支援教育の視点に基づいた教育の推進
 - ・多様性を認め合える、支持的な人間関係を大切にした学級経営
 - ・バリアフリーに立脚した学習環境づくり
 - ・児童の実態や特性に合わせた、意欲を引き出す授業実践
 - ・アピスマイルサポーターとの効果的な連携

(8) 家庭、地域と一体となった教育活動の充実

- ア 地域、幼・保、小、中の連携活動の機会の推進（小中一貫教育の推進）
- イ 地域の教育力（施設・人材）の積極的な活用
 - ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の取組の充実
- ウ P T A活動の改革と、学校応援団の充実
- エ 早寝、早起き、朝ごはん、読書活動の実践の継続
- オ 家庭学習の推進と定着（尾山台小ステップアッププランの推進）

(9) 安心・安全な学校づくりのための教育環境の整備と活用・防災意識の高揚

- ア 感染症対策の徹底
- イ 児童の自転車乗車時におけるヘルメット着用の啓発
- ウ 実効性のある避難訓練の実施
- エ 地域の見守り活動の充実

(10) 学校の業務改善・働き方の改革

- ア 適正な勤務時間管理の実施
- イ スクール・サポート・スタッフ等、人材の効果的な活用
- ウ 情報の電子化と共有化を推進する、指導・働き方の研究

学校マスコットGETくん

GENKI (げんき)
EGA O (えがお)
TASUKEAI (たすけあい)

